

令和2年度 学校評価報告書 (目標設定・実施結果)

	視点	4年間の目標 (令和2年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価 (月 日実施)	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1	教育課程 学習指導	①グローバル人材としての資質の涵養 ②持続可能な教育課程の編成と実践 ③次世代の学校教育を視野に入れた不断の授業改善	①世界の状況を広く観察し、相互理解を深めようとする姿勢を培う。 ②魅力あるバランスの取れた教育課程の編成を行う。 ③継続的な授業改善の取組を実践する。	①ICTの活用など、世界の人々と交流する方法を模索し、相互理解を深める。 ②カリキュラム委員会を中心に、今年度前半に、令和3年度からの本校の教育課程を決定する。 ③教科の枠を超えた研究授業を実践し、授業改善のための研究協議を全職員で行う。	①グローバル教育アンケートで「国際的な理解が深まった」と答える生徒が80%を超えたか。 ②9月までに新しい教育課程を中学生に示すことができたか。 ③全教科で研究授業を実践し、全職員が研究協議に参加することができたか。					
2	(幼児・児童・)生徒指導・支援	①生徒が集中して授業に取り組むことができる学習環境の整備と学習習慣の確立 ②部活動や特別活動を通じた協調性及び人間性の向上	①生徒が集中して授業に取り組むことができるように、生活環境や授業規律についての見直しを行う。 ②部活動や特別活動においての人格形成の重要性を全体で確認し、生徒の主体的な活動を支援する体制をつくる。	①ICTや教室の環境整備について見直し、必要に応じて改善策を講じる。また、授業規律についても全体で協議し、生徒が集中して学習に取り組むことができる環境づくりに努める。 ②今年度、様々な制約のある中で、部活動の在り方や意義について、生徒と共に考える場を設けるなど、精神の成長を促す工夫をする。	①ICTを活用した授業実践例が増加したか。また、生徒による授業評価のアンケートで「集中して授業に取り組んだ」と回答する生徒の割合が増加したか。 ②部活動の加入率が増加したか。また、部活動の定着率が80%を超えたか。					
3	進路指導・支援	①自立した社会人となるための資質の育成 ②社会の趨勢を捉えた適切な進路指導と進路希望の実現	①体系的なキャリア指導に加え、シチズンシップ教育等の充実し、社会人となる自覚を促すための取組を行う。	①生徒、保護者の進路に対する不安を払拭するため、適切な情報提供ときめの細かい相談体制の構築に努め、長い目で進路を考えることができるよう支援する。	①将来の職業を見通して、進路(学校)選択をする生徒が増加したか。					

視点	4年間の目標 (令和2年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価(月 日実施)	
			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
		②情報収集、情報共有の体制強化を図り、機に応じた適切な情報発信を行う。	②新たな入試制度や混迷する現在の社会情勢の中で、情報収集、情報共有の体制強化を図り、科目選択等の場面などで、機に応じた適切な情報発信を行い、生徒、保護者を支援する。	②国公立や難関私立大学(早慶上理、GMARCH)などの大学へ進学する生徒が増加したか。					
4 地域等との協働	①地域等との連携事業を通じた共感能力や協調性の育成、及び社会の形成者としての自覚と奉仕の精神の涵養 ②地域と連動した防災体制の確立	①生徒の教育資源として、地域行事への参加や地域の学校等と連携の場を活用する。 ②防災の観点から、地域の学校としての役割について、見直す。	①部活動や生徒会活動を中心とした地域の行事交流だけでなく、地域の学校との教員間の交流を推進し、情報共有や相互理解を深める。 ②学校防災を考える時に、併せて地域の防災についても検討し、様々な災害に備える体制を作る。	①これまでの取組を継承し、地域との継続的な関係を維持し、進展させることができたか。 ②学校防災マニュアルに併せて、災害時の避難所としての運営指針等、地域防災についてのマニュアルを整備したか。					
5 学校管理 学校運営	①適切な業務分担と進捗管理 ②学校の課題に対する意識の共有と協働体制の構築	①業務分担の見直しを行うとともに、業務の適切な進捗管理に努める。 ②事故防止等の学校の課題に対する意識を職員全体で共有することができる、風通しの良い職場の雰囲気醸成する。	①管理職が中心となり、職員の勤務状況を適切に把握し、適切な業務配分を行う。併せて、話しやすく相談しやすい職場の雰囲気を醸成する。 ②各グループリーダーやサブリーダーが、主体的に互いに相談しながら、年間計画に則った適切な業務の進捗管理を行う。	①職員のストレスチェック診断で、高ストレスを抱える職員の割合が10%未満であるか。 ②時間外勤務や休日勤務を行う職員の割合が減少したか。また、職員の勤務時間の実態に、著しい偏りがなにか。					